

令和5年10月17日
東北防衛局
防音対策課

令和5年度三沢飛行場周辺の騒音度調査について

三沢飛行場の第一種区域等については、平成11年3月の最終指定告示以降、配備機種を更新や外来機の飛来等により騒音状況が変化しており、平成30年からはF-35Aの配備を開始している状況です。

このような状況を踏まえ、航空機騒音の状況を把握するための騒音度調査を令和5年度から令和6年度にかけ実施することとしています。

令和5年度においては、7月28日に当局において業務委託契約を締結し、騒音測定点の選定等の事前調査を行い、調査実施内容及び調査手法等を取りまとめ、業務委託契約の中で設置した有識者による検討委員会においてご確認頂き、今般、委託業者による基礎データ調査及び予測検証調査等を行うため、同飛行場周辺において騒音測定等を実施する予定です。

なお、令和6年度においては、引き続き飛行回数調査等を含む騒音度調査を行い、騒音コンターを作成することとしています。

※検討委員会

騒音評価等に学識経験を有する者により構成され、騒音度調査の妥当性、客観性、透明性を確保するため、調査実施内容及び調査手法等の確認等を行う。

○主な調査実施内容のスケジュール

- 1 基礎データ調査及び予測検証調査
 - ・基礎データ調査の本調査：10月中～下旬頃
 - ・予測検証調査の本調査：10月中～下旬頃
- 2 経路調査
 - 10月中～下旬頃
- 3 飛行回数調査
 - 令和5年10月～令和6年1月（1年分のデータのうち4カ月分）
- 4 地上騒音の音源位置調査及び継続時間調査
 - ・音源位置調査：10月下旬頃
 - ・継続時間調査：令和5年10月～令和6年1月（1年分のデータのうち4カ月分）